

通告番号 番

令和 8 年 5 月 2 9 日 午 前  
時 分 受 領  
後

氏 名 おだぎり たかし ㊟

流山市議会議長 石原 修治 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 2 回 定 例 会 に お け る 一 般 質 問 を 下 記 の と お り 通 告 し ま す 。

質 問 事 項	要 旨 (質意を明確、具体的に)
1 中部地域のまちづくりについて	(1) 都市軸道路について、大畔T字路や県道豊四季停車場高田原線との交差点等、右折信号機を設置すべきだがどうか。また大畔T字路における児童生徒の安全な横断を確保する取り組みはどこまで進んでいるのか。 (2) 流山おおたかの森駅周辺の渋滞について、2025年第3回定例会決算審査特別委員会で市長は「週末を中心に渋滞していることは認識しています。特におおたかの森西交差点などについては、交通処理対策が必要と考えています」と答弁した。都市計画道路東深井市野谷線流山おおたかの森S・Cの駐車場出口前の中央分離帯を削り、左折レーンの延長を図る等対策を具体化すべきだがどうか。 (3) 初石駅西側旧駅舎等の跡地利用と西口広場の今後について
2 地域経済の振興策について	(1) 中東情勢の影響は地域経済でさまざま表れているのではないかと、市として実態把握を進めるとともに、相談窓口の設置や本市独自の支援策を検討すべきと考えるがどうか。 (2) 公共事業への影響について問う。 ア 長引く物価高騰に加え、中東情勢の影響により資材料の不足や価格高騰などおきていないのか。また新年度予算の執行にあたり、緊急修繕や改修等の確実な実施のための取り組みや工事請負契約第26条(契約スライド条項)を活かした対応が必要ではないか。 イ 多額な経費と資材料を投入する通称「いぎきロード」や都市計画道路野々下思井線道路改良工事は、詳細設計を実施した時期と現在で大きな金額差が生じている恐れもあり、いったん立ち止まることも「1円まで活かすこと」と捉えているがどうか。 ウ 2026年度からスタートする建設現場の「夏季休工」制度について、本市でも積極的な対応が必要ではないか。またそれに伴い、休工期間の現場作業員の手当確保や、休工期間を踏まえた工事期間の設定等、現場や受注事業者を支障のない対応が必要ではないか。
3 高齢者の移動支援の強化・充実について	(1) 免許返納等、高齢者の移動における自由度低下は、人との接点や社会参加の機会喪失を招き、孤立や抑うつ状態等、身体機能や認知機能の低下により、社会保障費の増大にもつながりかねない。高齢者の移動支援の在り方について組織横断的に施策を深め、練り直す必要があるのではないかと。

(2) 高齢者免許返納一時金制度を更に充実させるため、2025年6月国土交通省「高齢者免許返納促進事業活用の手引き」に基づき具体化を図る必要があるのではないか。